

NPO紹介シート

作成日 平成19年6月12日

作成者 窪田 弘

子ども

法人格	フガナ	ブイワイエス	フガナ	オオザイ ツグノリ	団体設立日	昭和27年7月1日		
有	団体名	VYS	代表者名	大財 次徳	法人設立日	平成17年5月20日		
活動地域	愛媛県内			正会員	賛助会員	事務局	ボランティア	
主たる活動の種類	子どもの健全育成			個人	18人	30人	有償	有償
従たる活動の種類	福祉			団体			無償	3人 無償
所在地	〒799-2648 松山市菅沢町甲229			単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業 委託事業 助成金
TEL	090-4331-9615(専用)			18年度				
FAX				17年度				
Eメール	npovys@yahoo.co.jp			16年度				
ホームページアドレス								

*下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>1952年(昭和27年)発足以来、継続しているVYS運動をさらに有効に推進するため「NPO法人VYS」を設立し、継続的、安定的な活動を展開する。</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの基本的人権を尊重するため、「子どもはくいの宝」運動を提唱していきたい。 2. 児童福祉とボランティアを多数養成する為の研修会を実施する。 	
主な活動実績	
<p>1952年(昭和27年)発足以来、実践してきた児童福祉、地域福祉との実践活動を継続していく。</p> <p>(現在、公共機関の委託等助成金なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成指導 ・遊び場、児童館運営協力活動 ・美しいまちづくり ・ボランティア育成推進活動 	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<p>子ども健全育成及び社会福祉増進活動を推進することにより、より豊かな明るい社会づくりに貢献する。</p>	<p>子どもの健全育成の活動支援プログラムの提供。</p>
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
Empty space for future needs	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<p>1. 松山市内に児童の健全な環境をつくるため、児童館の増設を行う活動を広めていきたい。</p>	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力	合計:	22
◆様々な手法による課題・ニーズの把握		
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。		3
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。		2
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。		3
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。		3
◆課題・ニーズを把握するための環境		
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。		2
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。		3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。		3
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。		3

2. 広報を活かす力	合計:	27
◆様々な手法による広報活動		
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。		4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。		4
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。		3
◆広報の対象についての調査、活用		
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。		4
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。		4
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。		3
◆広報結果の調査、整理		
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。		3
◆広報活動の環境		
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。		2

3. 組織を育てる力	合計:	23
◆人材の受け入れ、育成		
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。		3
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。		2
◆組織全体で進める体制		
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。		3
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。		4

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 3 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 3 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 3 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 2 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 28

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 4 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 3 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 3 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 3 |

5. 財源を生み出す力 合計: 19

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 1 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 2 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 3 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 2 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 2 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 3 |
|--------------------------------------|---|